

二中学区小中一貫通信 第3号

令和6年9月2日(月) 発行:小中一貫プロジェクト委員(担当:祇園小学校 田村)

厳しい暑さが続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。小中一貫教育研修会も今回で3回目となりました。9月から11月にかけては、小中音楽交流や二中学区クリーン活動など、小中合同のメインとなる活動が行われます。実りある小中一貫教育が実践できますよう、後半戦もご協力をよろしくお願いいたします。

1 担当校長あいさつ

祇園小学校 星野良子校長先生

これまで、あいさつ運動や読書郵便、乗り入れ授業など、リーダーの先生方を中心に、それぞれの部会で見える活動がしっかりと行われていて、うれしく思います。先生方、是非とも自信をもって、活動を推進していただけたらと思います。その中で大切なことは、多忙感の中で進めるのではなく、先生方が楽しんで実践していくことが一番だと思いますので、これからもチーム力を生かして、楽しみながら活動していきましょう。

2 各チームからの活動報告

○学習指導チーム

まずは、それぞれの学校でS&Uが始まっています。祇園小では、「対話的な学び」をテーマに授業研究会を行い、「ループリック」という新しい評価の方法を学びました。二中の先生が祇園小のS&Uに参加し、そこで学んだ「ループリック」を活用して授業を行ったという話も聞いています。緑小では、「聴いて考える力を高める」というテーマで、講師の先生の示範授業を参観しました。中学校では、国語や算数に限らず、様々な教科で授業を見合いながら、横断的に研究されているとのこと。それぞれの学校で対話的な授業の実践、研究を行っていますが、大切なことは、聞いて終わりではなく、最後は自分に返せるようにすることなので、振り返る時間の確保などが現在の課題として出ています。また、「一人一授業」も各校で行われていますので、学校の枠を越えて、それぞれの授業を互いに見合えたらと思っています。掲示板で情報をやりとりしながら、授業を見合える流れをつくっていきたいと思います。



○心づくりチーム

現在、掲示板の有効活用が続いており、実践資料が続々と集まってきています。ただ、方向性がぼやけないように、グランドデザインを基本にしながら、どのような実践資料が求められているかという視点を、本日確認しました。その中で2つの改善点が出てきました。

1点目は、道徳教育の充実を目指すために、当初の「カリキュラムマネジメントシート」から、「道徳の別業」を活用する方向にシフトチェンジしていきます。別業に一本化することで、より分かりやすく実践できるのではないかということになりました。その中で、「カンピくんマーク」と「古麻呂くんマーク」を使用することとし、カンピくんマークは人権教育に関する観点、古麻呂くんマークはふるさと学習の観点で、別業に記入していければと思います。

2点目の改善点は、読書活動の推進に関して、例年二中で開催している古本市を、小中一貫に取り込んでいこうということになりました。この古本市は廃棄本の引き取りで、例年教職員を対象に行ってきたものですが、今回は児童生徒を対象に行うことで、小中の交流につながるのではないかの提案がありました。



○健康チーム

「からだWEEK」については、持久走記録会や中学校の駅伝大会に合わせ、概ね11月に実施予定です。体づくりの視点で、「体力」「保健」「栄養」の3つのグループに別れ、話し合いをしました。「体力」チームでは、新体力テストの結果を分析し、落ち込みがある種目を確認し、その部分の向上を目指し、体力向上ブースを設けたり、委員会の児童を中心に体力向上の活動を行ったりしました。持久力アップに向けても、業間走りなど、継続的に取り組んでいきたいと思えます。「保健」チームでは、目の健康と姿勢に力を入れて指導していきたいという意見が出ました。委員会児童の呼びかけを行ったり、オープンスペースに視力測定コーナーを設置したりするなど、意識付けを図っていききたいと思えます。「栄養」チームについては、朝ご飯を食べよう週間を実施します。中学生が献立を考え、その献立のおすすめ動画を中学生自らが作成し、小学生に見てもらおうなどの活動を考えています。



○つながりアクションチーム

本日は、3点について話し合いました。1点目は、二中学区いじめ防止スローガンを浸透させるための各学校の取組についてです。緑小の「ふわふわ言葉」を意識した活動、祇園小のプレタイム(縦割り活動)の充実、二中の「私は誰でしょうクイズ」の実施など、様々な活動案が出されました。それぞれの学校の実情に合わせて、実施していければと思えます。2点目は、小中合同クリーン活動についての話題です。中学生1人に対して小学生3人程度の小中同士のペアで活動する方向性で考えています。将来的には、「小中学生がお弁当と一緒に食べてから清掃を始めてもよいのでは?」とか、「自治会ごとに分かれて自分の住んでいる地域をきれいにしてはどうか?」など、新しい提案も出ました。3点目は、11月のいじめ防止強調月間に対する取組です。二中では「感謝の木」、緑小では「ふれあいの木」、祇園小では「ぎおん川柳」など、各校で予定されている活動が紹介され、とても参考になりました。今後は、最後の3回目のあいさつ運動があり、9月は音楽交流、10月には文化祭、11月はクリーン活動と交流が続くので、振り返りをしながらまとめにつなげていきたいと思えます。



3 下野市教育委員会より

石崎 真清 指導主事

二中学区の先生方には、意欲的に様々な活動に取り組んでいただき、計画されていた活動が、かなり実践に移されていて、ありがたいと思っております。昨年度の活動を継続して行っているものもあれば、今年度新たに実践している部会もあり、心づくりチームの「読書郵便」など、とてもよい活動だと見させていただきました。また、お忙しい中、体育や家庭科などの乗り入れ授業も実践していただき、素晴らしい取組だと思っております。S&Uでは、お互いの研修に参加するだけではなく、学んだことを自身の授業に生かしているという話を聞き、小中一貫の取組にプラスになって働いていると実感しています。グランドデザインに「聞いて考える力の育成」がありますが、学校課題との関連が非常に重要になってきます。夏休みには学力テストの分析も行われると思っておりますが、その視点を忘れずに、分析を進めていただければと思っております。

7月22日の小中交流の会議には参加できなかったのですが、横山先生から写真を送っていただき、昨年度はスローガンを決め、今年度はそのスローガンをどのように生かしていくかという話し合いが行われたようで、つながりを感じられる素晴らしい活動になったことと思っております。11月に向けて、さらに様々な交流が行われると思っておりますが、掲示板を有効に活用しながら、各部会で連携を図り、実践を進めていただければと思っております。本日はありがとうございました。

